

上海市

2月8日(日)

◆ 上海港国際クルーズ・ターミナル公社

面談相手: 上海港国際クルーズ・ターミナル公社 王 副經理

上海市港口管理局

田 助理調研員 ほか



王氏、田さんと(私の両側)



クルーズ・ターミナルと不動産開発

上海の国際クルーズ船ターミナルは、敷地13ha、地上の延床16ha、地下延床24haの規模で、850mを越えるバースに最大 3 隻が係留できる施設を有しています。税関や出入国管理などのCIQ(税関、出入国管理、検疫)は地下一階にあります。地上からの自然光などが採り入れられた構造で開放的な空間ができています。地上の約半分の8haを緑地として、国際ターミナル建設と不動産開発をあわせて建設費56億元(780億円)のプロジェクトで、2008年8月に供用が開始され、2009年末に完成する予定です。

公社は、国際ターミナルと同時に不動産開発を事業として担う役割を与えられており、旅客運送は公益事業としてあまり収益を期待しておらず、不動産開発を収益の柱に企業として事業展開をされており、ターミナルビルが売却できれば、投資コストは回収できる予定とのことです。



地下1階のターミナルビル(右は寄港するクルーズ船の写真を掲示するパネル)

ターミナルからは浦東地区が一望できる眺望を生かして、来年には上層階にレストランなどの娯楽施設をオープンする予定であり、クルーズ・ターミナルという開発になじみやすい港湾機能と事業を一体化させており、その他の港湾施設は近傍になく、また、都心に立地しているのが特徴です。



レストランなどができるエリア

昨年7月にはオープンを記念して、アジアで初めての「All Asia Cruise Convension」が上海で開催されましたように、積極的なクルーズ船誘致を展開されています。昨年は24隻、今年は35隻の寄港が予定されているように徐々に伸びる傾向です。

私からは、これまでの大阪港との連携・交流に対する御礼とともに、大阪ではまだまだクルーズ船の寄港が少ないものの、大阪市はアジアへ視野を向けており、国際クルーズ船ターミナルの完成を機に、さらに上海港との連携を通じて大阪・上海の経済活性化や観光交流を進めていきたい旨を申し上げました。

上海は地理的に近い九州の港からのフェリーが多いのですが、上海市民は大阪・神戸に対する観光に関心が高いので、来年は直接阪神港へ就航するクルーズ船の誘致も計画しているとのことでした。また、大阪港からは週2便が上海港へ就航しており、当日も上海フェリーの蘇州號が停泊していました。中国発の訪日クルーズは成長を続けており、上海では米国のロイヤルカリビアン社、イタリアのコスタクルーズ社などが運行しており、日本と同様、中国本土だけでなく周辺アジア諸国やヨーロッパ諸国から上海をハブにしてフライ・アンド・クルーズも増えてきているようです。また、米国の上海万博のテーマになぞらえて「Better Cruise Better Life」というスローガンを市長が作り、会議室に掲示されているのが印象的でありました。



ターミナルビル外部の開発状況



ターミナルから見た浦東地区の景色



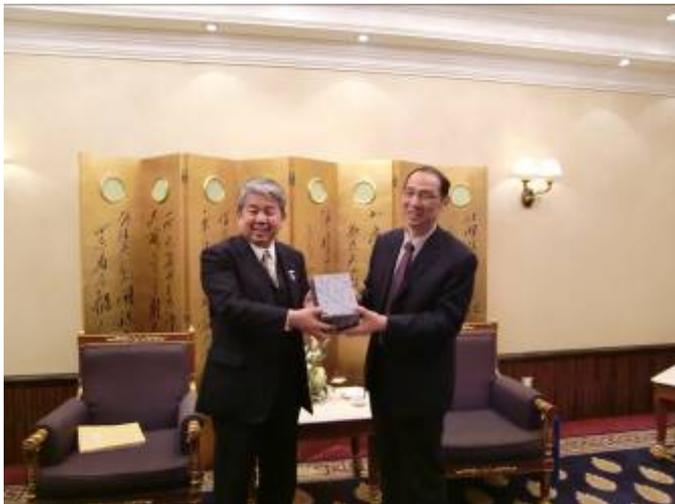
ターミナルビル外の眺望デッキ

◆上海市交通運輸港口管理局表敬訪問

面談相手： 上海市交通運輸港口管理局 王 副局長
同 田 助理調研員

私のほうからは、上海港とは長く交流いただき、大阪港と上海港の窓口として長期にわたる友好にご支援いただいている田さんへの御礼を申し上げるとともに、大阪港のコンテナ取扱量の最大の相手都市である上海市と港を通じて今後さらなるビジネス交流が促進され、両港が活性化されることを期待している旨を申し上げました。

王副局長からは、議長の訪問は大阪市と上海市の友好を促進する非常に良い機会である。交通局と港口管理局を一つの組織に再編成する改革を行い、双方の調整を円滑にでき、かつ一体的な管理を行えるようになった点がメリットであること、姉妹港関係を継続し、さらなる友好交流を深めたい旨のご挨拶を頂戴いたしました。



王副局長と

◆ 黄浦江沿岸・外灘地区のライトアップ視察

外灘地区は19世紀後半から20世紀にかけての上海租界であり、当時の西洋建築物が保存修景されており、通り沿いに建つ建物は比較的高さがそろい、昼光色で統一された静止型のライトアップがなされているのに対して、対岸の浦東地区は原色系を中心として多種多様な光のイルミネーションがされていて、黄浦江をはさんで非対称の面白さを感じられる光のまちづくりです。

浦東の高層ビルは、点滅したり、ビル壁面全体を使って映像が流れるイルミネーションといった特殊効果を使用しているものもあり、400mの河川をはさんで眺望しても、そのスケールの大きさと躍動感のようなものが直接伝わってまいります。まさしく、歴史地区の「静」、「荘厳」、「間接照明」と現代都市の「動」、「未来」、「直接照明」というコントラストの「粋」というものなのかもしれません。



浦東地区のイルミネーション



外灘地区のライトアップ

黄浦江のナイトクルーズを通じて感じたことは、大阪市でも中之島において光のまちづくりに取り組んでいますが、安易にそしてばらばらとイルミネーションをするのではなく、地区のイメージを綿密に分析し—それは歴史性、文化性、自然か、さまざまな要素があると思いますが—光の色、当て方、動きなど市民に愛されるものを作り出していくことが必要になるのではと感じた次第です。

2月9日(月)

◆ 上海市人民代表大会常務委員会表敬訪問

面談相手： 常務委員会 劉 主任、徐 副主任、桃 秘書長

劉主任には上海市との重要な会議を中座していただき、大阪市会議長として公式な立場から会食をかねて懇談させていただきました。劉主任からは、上海市と大阪市は古くから交流があり、35年に及ぶ友好都市の



歓迎と御礼の挨拶

歴史の中でも多くの成果を上げ、先代の主任、副主任も大阪市を訪問しており、今回の議長訪問は両市政府とともに、上海市人民代表大会と大阪市会という議会同士の交流促進のきっかけになるという歓迎の挨拶を人民代表大会を代表して頂戴いたしました。

また、世界経済危機の中でも上海経済については自信を持っておられ、人民代表大会でも今年の経済成長目標を策定され、上海市はまだまだ発展の余地が大きく、上海万博が、世界経済危機の中でも上海市だけでなく中国経済、世界経済を牽引する良いきっかけになり、今後も引き続き、大阪市会と上海人民代表大会とが強く交流していくことを期待されました。

私の方からは、大阪市民、市会を代表して友好都市35周年の節目に訪問でき、上海市民、人民代表大会とこれま



会場になった瑞金会館(蒋介石夫妻が暮らしたこともある歴史的な建物)

で続けられた友好関係に感謝の意を表しました。大阪市の政策においてアジアが重要な拠点となっていること、またアジアの中でも中国、そして中国の中でも上海市との友好・交流が大切であり、過去もそして今後も変わらない思いをお伝えいたしました。

環境や水都という大阪の強みをテーマに府市協力して出展する上海万博についてもご協力・ご支援いただき万博の成功を願い、さらに深い友好関係を築き上げたい、上海万博には議会をあげて応援していきたい旨を申し上げ、感謝と御礼をいたしました。

(上海万博について)

上海では、観光が都市の重要な戦略の一つとなると考えられており、上海万博は国を代表して上海市が取り組む都市戦略であり国家戦略であり、その成功が非常に大きなテーマであるという印象を受けました。万博誘致の背景には、1970年の大阪万博の成功がそれ以降の大阪の発展につながったとのことで、大阪の都市のマネジメントに関心を持たれていました。

また、上海万博で大阪が取り上げる環境技術のなかで、「水技術」に関連して、特に、揚子江のような水量が豊富な河川はありながらも、人口が増え経済が拡大している中で、水の浄化や節水技術に注目されていますが、節水技術はあるものの、技術コストが高く普及が進みにくいなどの問題を抱えているようで、連携・協力の可能性があるのではと考えます。

(市内の経済開発について)

浦東新区へのディズニー誘致計画が新聞報道されていたことから、その状況をお聞きしましたら、順調に協議は進んでいるものの、マスコミ報道の先行にやや不満を持たれていました。ただし、東京でのディズニーの成功に関して関心を持っておられ、慎重に研究されているように感じた次第です。

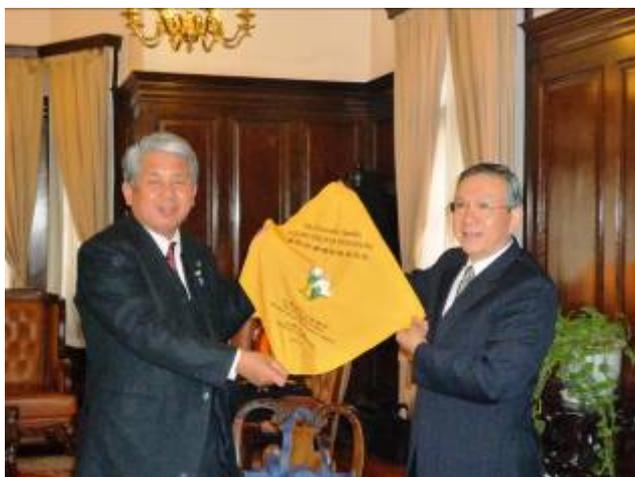
また、虹橋空港が浦東空港より都心と近く便利であることを生かして、虹橋地区で一大交通ターミナルを建設中であり、空港、地下鉄、LRT、浦東空港と20分で結ぶリニア鉄道も計画されている20km²の規模の世界にも例を見ない開発になるとのことです。

(大阪府との交流について)

昨年は府議会、府知事ともども訪問されたように大阪府議会とも交流が深く、府からはVIPが使用するマイクロボスの寄贈を受けておられ、そこに府章が入れられていますので、うまく府のPRにも繋げているようです。上海市は6,400km²と広大な市域を持っていますが、市街地はその1/3であり、行政のあり方も研究されているようで大阪府と大阪市の関係も勉強されているようです。

(世界経済危機について)

世界経済危機に関しては、企業経営や市民の消費活動にも関心を寄せておられました。中国は貯蓄文化であり、マスコミが100年に一度の危機と騒ぐほどではないのではないかと考えられて、中国としても経済構造調整を図っていく必要があるが、中国が世界経済を引っ張って



私の名前入りのプレゼントを頂きました

いくという気概を示され、また上海経済に対しては自信を持っておられました。

(上海市第13期人民代表大会の話題について)

2009年1月に開催された本会議では世界経済危機の中で、上海市政に対して、厳しい経済情勢の中でも企業経営者に人員削減、給料削減を行わないように呼びかけることや中小企業が深刻な打撃を受けていることから資金の支援を政府が行うよう意見が出されています。

また、上海の経済が中国の経済発展の「風向計」の役割を果たすことから、万博の開催が投資を進め、上海のインフラ水準を引き上げ、また市民生活に関する事業を着実に進めることで、市民の将来への自信を強め、消費拡大にもつながるよう提言されており、2009年の域内生産額の成長率を9%と設定して、上海の発展に対する自信を持たせようとしています。

産業構造の調整として、将来性のある企業をサポートすべく、優先させる産業や業種について科学的に評価していこうとされています。その他、万博を契機に持続可能な発展を探るために、産業構造の転換をすべくサービス業の促進、省エネ製品や技術の普及と市民啓発そして水環境の保全のために汚染物の排出減少や資源の有効利用を求めています。

今回の表敬訪問を通じて、上海市の国家を牽引する経済都市としての自負、目標設定を通じて市民へ夢を与えるという市政・政治姿勢、持続的発展という国際的な共通認識の中での新興国としての悩みというのが、まさに「今の上海」を明確にイメージさせるものだと感じました。

また、今回の訪問は市会党派という枠組みを超え、市会を代表する議長と人民代表大会常務委員会の主任という公式な立場から行った交流であり、これを契機に議会組織同士として、上海万博への協力などをはじめとして一層緊密な友好関係を継続、発展していけることを期待しています。

◆ 上海世博会事務協調局

面談相手： 上海世博会事務協調局(上海世博局)胡副局長、蔣外事公室助理主任ほか

○上海万博の概要

- テーマ: Better City, Better Life
- 会 期: 2010年5月1日～10月31日
- 参加者: 現在186カ国、47国際機関、目標入場者数 7,000万人
- 会 場: 約5.3km²(黄浦江の兩岸—南浦大橋と盧浦大橋の間)



会場模型

(ベストシティ実践区(UBPA)の概要)

博覧会史上初めて設ける世界の代表的都市が都市として参加して、先進的都市事例を展示する地区。単に事例展示だけでなく、都市開発に関する知見を都市相互間で共有・深め合うためのプラットフォームとして位置づけられています。

約15haの規模で、4つのテーマ別エリア
— 住みやすい都市(Livable Cities)、持続可能な都市化、歴史的資産の保存と活用そして環境改善に資する技術革新 — から構成されています。

大阪の出展は約 650 m²の規模で、Livable Cities の中で西安、ビルバオ、ジュネーブ・

チューリッヒ・バーゼル、パリ、バンクーバー、フィラデルフィアの都市との共同館で予定しています。テーマは「環境先進都市・水都大阪の挑戦」として、「水の利」を生かして日本最大の交易・商業都市として栄えてきた歴史や我が国の経済成長期において様々な公害を克服し、環境技術の開発や環境共生型のまちづくりを進めてきた背景をもとに、その経験と技術をアピールし世界の都市環境改善に貢献するとともに、大阪の都市魅力を発信することを目的としています。



ベスト・シティ実践区の模型

(上海万博への大阪出展までの経過)

平成19年3月:市長が上海訪問時に、万博出展へ協力を要請される。

平成20年3月:ベストシティ実践区への関心表明を府市で提出。

平成20年4月:上海世博局がベストシティ実践区への出展都市(屋外15都市、屋内44都市)を発表し、大阪も屋内出展都市として選出される。

平成20年8月:大阪出展の「基本構想」策定。

平成20年9月:上海世博局に「展示計画」の中間報告。

平成20年12月:「基本計画」策定。

平成21年1月:平松市長と洪上海世博局長が出展契約調印。

平成22年5月1日～10月31日:上海万博開催。

○意見交換について

胡副局長からは、大阪の出展に対する御礼を頂戴し、万博のイベントとして、日本関連の企画として、相撲協会の参加や大阪関連では黄浦江を使って天神祭をするイベントについても提案を受けて検討されています。

オリンピックと上海万博との意義について、前者は改革開放30周年、建国60周年の節目で「中国を世界にアピール」するもので、万博は同じ時期に、「外国から学



ぶ」ための大会であるとされ、明確に違いをつけておられました。1970年の大阪万博の成功経験から学ぶところがあるということと、日本が未来に向かって、後輩である上海に対して無私の協力・応援をしてくれている2点に感謝いただきました。

私からは、出展契約に際して、大変立派な調印式をしていただきお世話になったこと、また、大阪をアピールできる機会を戴いたことに御礼申し上げます。大阪府議会議長・知事、大阪市長の訪問や今回の訪問など、大阪の代表が継続的に訪問させていただく機会を与えていただいたことは重要なことであり、全面的に応援したいと申し上げます。

大阪万博の成功が参考となって、上海の都市成長戦略として万博が大きな位置づけとされていることが印象に残っています。私のほうから、上海が素晴らしいのは「カメラに入らないスケール感」と感じ、写真だけでは伝わりにくい万博のスケール感を前面に出してプロモーションをされることを提案したところ、4月から開始するプロモーションの推進活動において、今回の提案を生かしたいとされました。

大阪のテーマである「環境」に関しては多くのイベントも企画しているので、意見を戴きたいという申し出があり、府市で初めて取り組む万博出展を成功させる意味からも、大阪市としても上海の推進活動と密に連携を図っていききたいと申し上げます。

○会場について

黄浦江兩岸はもともと電力をはじめとする重工業の工場群で、浦東地区は農業系土地利用でありましたが、万博を契機に土地利用を経済開発により一変させようとしています。元々造船所などがあった所で、既存施設は早いもので4ヶ月、1～2年で移転させたのですが、国有地でも住民の使用権があり、補償する仕組みにはなっているようです。

世博軸と呼ばれる通りを7,000万人が通ることになり、その両側に欧米系、中国館やアジアの展示館が配置されています。博覧会の従業者用住宅は終了後ホテルに転用される予定です。



会場の建設状況(左奥の逆三角形の建物が中国館)

ベストシティ実践区兩岸の通行は、自動車用、歩行者用の地下トンネル4本及びフェリーでの連絡を計画中です。大阪展示館は工場を転用したもので、旧火力発電所の煙突は歴史的ランドマークとしてあり、螺旋状の通路をつけ、展望してもらえるように計画していますが、現在耐久力があるかについてチェック中とのことです。

いずれにしても、一日では決して見て回れないくらい会場の広さと入場者数7,000万人という壮大なスケ-

ルに圧倒されましたが、この会場の魅力や上海そのものが持つ潜在的な集客力を考えると大阪展示館は都市、技術、企業などの総合的な絶好のプロモーション拠点となりえる、また、そうしなければならないと確信した次第であり、より一層のコンテンツや運営の充実について検討を深めていく必要があると考えます。また、胡副局長から提案のあった上海万博のイベント企画などについて、大阪市のさまざまな技術や文化などのプロモーションを兼ねて上海市と連携して進めていければと期待しています。



世博軸とそれに隣接する中国館



従業者用住宅(終了後はホテルへ転用)

◆ 上海市旅游局表敬訪問

面談相手：道 旅游局長、周 副調研員

○道局長への表敬訪問

私からは、大阪はアジア、アジアの中で中国、中国の中で上海市という良きパートナーと古くから交流でき、今後も引き続き交流していきたい旨を申し上げるとともに、建国60周年、友好都市35周年という節目で、上海・大阪の両市民の相互の観光交流を通じて友好を深めたいという思いを伝え、上海万博で大阪がテーマにしている「環境」のなかでも、大阪が「水」関連技術に力を入れてきた結果としての「ほんまや」をプレゼントし、また水都大阪2009のPR、大阪の春夏秋冬のイベントについて説明いたしました。

道局長からは、旧正月の最終日は家族が夜そろって団らんするのが中国の伝統であり、その日に議長が訪問されたことは、上海と大阪が家族の一員であることを象徴するものだという暖かい言葉をいただきました。友好都市として35年になりますが、最近では大阪市だけでなく、大阪府も知事や府議が上海を何度となく訪問されているように、大阪府・市と上海は共に友好都市であり、大阪・上海は日中交流のシンボルと考えていただいています。

なかでも、「観光は友好事業の架け橋」であると強調され、双方の友好活動が深まることを期待されるとともに、2000年に日本政府が観光立国と宣言されて以来、中



道局長と

国からも多数日本を訪問しており、中国人の観光客は日本へ行く場合には大阪への関心が非常に高く、食べ物が美味しいというのが評判であるようです。

世界経済危機は旅行業界にも影響を与えていますが、互いの協力により困難を克服できると思うし、万博を契機にさらに発展させていけるのではないかという抱負を述べられました。

道局長が大阪を訪問された際には、環境関連の先進技術に驚き、水技術をはじめ両市が環境分野で交流を発展させていけるのではないかと、また上海市と大阪市の観光部局との実務的な友好関係もできており、釜山市を加えたゴールデン・トライアングル事業や大阪で行っているツアーエクスポなどの観光展や御堂筋パレードなどの大阪での行事への参加や、上海万博の出展契約の際に平松市長が訪問されたことに加えて、今回の議長訪問を通じて、ますます双方の観光をはじめとする交流を発展させていきたい意向をお伺いしました。

○ 大阪市都市観光プロモーション

上海市との観光面での連携としては、歴史的・文化的・経済的に関係の深いことから、釜山市・上海市とで「ゴールデン・トライアングル」として、東アジア域内の観光交流促進やベルリンでの国際観光展での共同プロモーションなど全世界からの観光客誘致に共同で取り組んでいます。

今回の訪問では、道局長への表敬終了後、旅游局、旅行業者9社約20名に、大阪市上海事務所の関係者、日中経済貿易センターの村中中国首席代表、大阪観光コンベンション協会の職員や上海で大阪の観光促進をお願いしている「大阪観光コンシェルジェ」の周さんに加え、約30名の規模で大阪観光コンベンション協会が主催して観光プロモーションを行いました。



旅行業者に対する観光プロモーション

私からは、水の回廊が持つ魅力と「水都大阪2009」の開催年である 2009 年を水都再生のムーブメントを起こすスタート年にしたいことや、その具体的なプログラムとして、「まち歩き」や「川めぐり」を融合したプログラム、光・水・映像を駆使した屋外型プログラム、川を舞台にした「食」をテーマにしたプログラムなどを紹介しました。また、京都・神戸・奈良などとも連携した関西の魅力や大阪の立地の優位性をPRするとともに、上海万博での大阪出展に対する航空便の状況などを含めて大阪の観光プロモーションを行いました。（配布資料：大阪再発見マガジン、Creative Cube Osaka、大阪市概要DVD、水都大阪2009パンフレット、観光マップ、中

之島 WALKER(光のまちづくり)など)なお、旧正月の最終日で、道局長は夜には徐園で公務がおありにもかかわらず最後まで付き合っただけに感謝申し上げた次第です。

道局長からはここ数年来観光交流が盛んになってきており、観光は相互理解の架け橋であることを再度強調されたのが印象的でありました。2010年の上海万博にも触れられ、私どもの再度の訪問を期待されますと共に、上海市のどなたとお会いしても万博に市が総力で取り組まれている姿勢を強く感じました。観光の目玉ともなる上海万博に向けて、海上輸送にもなり、また、市街の拡張・発展に向けて地下鉄建設が急ピッチで進められているとのことで、現在200kmあまりの路線が万博までには400kmほどまでに一気にネットワークが拡張されるとのことで、あまりに大きなスケールの計画であることにショックを受けました。そのうち5路線が万博の輸送に関連する黄浦江を横断するとのことですが、観光部門にとっての悩みは、駅がどんどんできていくので観光マップの改訂が追いつかないという、冗談のような本当の話です。なお、翌日には、参加いただいた旅行業者と大阪観光コンベンション協会とでプロモーション事業の連携について実務的な議論を進めていただきました。

今回、私の上海出張に合わせて、大阪観光コンベンション協会が観光プロモーションを開催していただき、議長としての公式な立場から参加し、上海市との都市間連携事業を協力して行えたことは、新しい試みであり、上海市関係者や旅行業界の方々にも大阪市の観光に取り組む姿勢を感じていただける有意義なものであったと考える次第です。

おわりに

今回の出張では、今後の大阪市の国際化の施策展開の方向性として重視していく必要があるアジア・太平洋地域にターゲットを絞り、また、先進事例調査という側面よりも、大阪市のまちづくりなどのプロモーションを通じて実質的な施策連携やネットワークづくりに繋げていく観点から、各都市で行政、議会をはじめ、大学・高校、日本と関係のあった多くのビジネスパーソン、観光関係者、日本領事館関係者など、実に多くの方々とお会いでき、現地の情勢、価値観、大阪に対する意見など生の声をお聞かせいただき有意義でありました。今回の出張は大阪市が今後これらアジアの諸都市と施策連携を進めていくネットワークづくりに繋がったのではないかと考えています。

オークランド市では今回の BPC 提携をきっかけに、商工会議所のバーネット会長には大阪担当者も割当ていただき、既に IBPC と商工会議所との間で、ICT ミッションなど実務的な交流について意見交換を始めていますし、オークランド大学のホイッター教授や日本総領事も大阪市とのビジネス交流の場に参加の意向を示されるなど、大変興味を持っていただき産学官としてのネットワークが築けたのではないかと考えています。

また、シンガポールでは、イーシュン・ジュニアカレッジと大阪市立高校との交流プログラムについて、非常に前向きな回答を頂き、現在、大阪市立高校の先生とイーシュン・ジュニアカレッジの副校長さんとで具体的なプログラムの協議をいただいています。公益事業庁PUBからは関係局に定期的に現地情報を提供いただけるようになり、さらに国際水週間への参画も含めて協力・連携について検討しているところです。日本大使館のジャパン・クリエイティブ・センターについては文楽をはじめとする大阪文化等の発信に向けてどう活用していくか、早速、関係局で検討をスタートさせており、実務的なネットワークの広がりには確実に繋がっています。

マニラ市では、実務的に政府観光省やスービック湾都市開発庁とのネットワークを作りつつあったところに今回の出張を重ねたことで、議会と行政が一枚岩になって都市間連携を進めていきたいという思いを強く伝えられたのではないかと思います。また、今回はできなかったのですが、シンガポールPUBと水道局との連携に加えて、水道局が進めている国際展開のことを考えれば、マニラ市のエンターテインメント・シティやスービックのように、フィリピンでは今後ますます都市整備が進むと考えられますので、水需要や安心な水供給といった面での大阪市とフィリピンとの連携も可能性を探ればよかったと考えています。

余談になりますが、JETRO マニラセンターの辻氏とのお話のなかで、いつの間にか年齢の話から、出身地の話になり、最後には同じ高校、同じ学年、同級生であったことがわかり、お互いは全く覚えていないのに、あこがれの女性だけは同じ人でお互いによく覚えていることがわかり、思いがけず楽しく懐かしい同窓会となりました。その縁もあってマニラ市とも JETRO の辻氏を通じて公私ともどもネットワークが築けたことを喜んでいきます。

上海市では世界経済を牽引する中国、そして中国を先導する上海市という意気を肌で感じ、また、上海万博の成功を国・市あげて取り組んでおられるなか、大阪府・市で上海万博を成功させることにより、これまでの友好関係をより強くかつ信頼感をもったものに昇華していけないのではないかと感じた次第です。また、上海市からは、大阪市が行ってきた地下鉄、下水、水道など多くのインフラ技術の支援に感謝いただきましたが、大阪府が議会や行政が公式なトップセールスを最近頻繁に行っているのに比べると、大阪市のトップセールスは不足しているために、実務的には大阪市の貢献が高いにもかかわらず、大阪市全体としては相手に与える

印象がやや薄れている感があり、今後は市・議会という組織を代表した公式なトップセールスを協調して継続していくことが必要かと考えます。

今回の出張は、議長個人の知見を深めるのではなく、人と会う機会を多くして大阪市のプロモーションを行い、行政が考える都市間連携事業に繋げていきたいという思いから、現地視察よりも少しでも多くの機関、団体などを訪問できるような企画づくりを理事者と何度も議論して練ってまいりました。その結果、タイトなスケジュールにはなりましたが、本当に多くの人とお会いでき、現地の生の情報、考え方、文化、大阪・日本に対する見方などを直接お聞きし、帰国後、各都市での様々な連携事業に関して具体的な協議や検討に入っており、出張の所期の目的が十分果たせたと考えています。

また、今回の出張では、上海市での大阪観光コンベンション協会と協働した観光プロモーションの実施や、IBPC大阪と一緒にオークランド商工会議所を訪問してBPC提携ができましたように、今後、議会の代表と行政サイドが一体となって実際の都市間連携事業を行うことにより、大阪の熱い思いも伝わり、より深いネットワークが築けるものと思っています。

都市間連携・交流は長いスパンで繰り返し行うことで、はじめて成果が生まれてくるものでありますので、この出張が一過性に終わるのではなく、市・市会・市民の財産として共有していくためにも、組織として継続されることが大事だと考えています。今後の議長出張や理事者の出張では、こうしたネットワークを生かしながら行政課題を踏まえ、ミッションを明確にして引き続き取り組み、実績を積み重ねていただくことを期待する次第であります。

最後に、今回の海外出張に同行し、一緒に大阪市の都市間連携について議論いただいた政策企画室川田部長、オークランド商工会議所でBPC提携に尽力いただいたIBPC大阪有田国際部長、事前の調査や情報収集や出張企画のための議論に多くの時間を割いていただいた安井国際交流課長代理・スズキ国際交流員、田中都市プロモーション担当課長をはじめとする多くの関係理事者の方々や、上海市での観光プロモーションで多大なご尽力をいただきました大阪観光コンベンション協会をはじめ、現地での対応をお世話いただいた関係者の方々に心から御礼申し上げ、海外出張報告とさせていただきます。